

要 約

2-ビニルピリジンのオオミジンコ(*Daphnia magna*)による繁殖試験を実施した。

試験は、1試験区10頭を用い、5濃度区[設定濃度：4.00、2.00、1.00、0.500及び0.250 mg/L(公比2.0)]及び対照区、暴露期間21日間、水温 $20\pm 1^{\circ}\text{C}$ 、1日に1回試験液の全量を交換する半止水式で行った。

その結果、試験液中の被験物質濃度は、調製時では設定値に対して94.2～102%、換水前では78.5～87.7%であり、設定濃度の $\pm 20\%$ を超えていた。したがって、試験結果は測定濃度の時間加重平均値に基づいて算出した。

2-ビニルピリジンの21日間における親ミジンコの半数致死濃度(LC50)は0.933 mg/L、50%繁殖阻害濃度(EC50)は1.06 mg/L、最小影響濃度(LOEC)は1.80 mg/L、最大無影響濃度(NOEC)は0.901 mg/Lであった。